

# 火伏



消防団員としての職務遂行を宣誓する新入団員の青木奏弥さん（都賀第3分団所属）

令和3年4月4日（日）に、とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木市栃木文化会館）で、栃木市消防団入退団式及び研修会を開催しました。令和2年度末に分団長以上で退職された10名の方に消防団長より退団辞令が交付され、令和3年度に新しく入団した52名の団員を代表して、栃木市消防団最年少となる19歳の若手新入団員が新任辞令を受領しました。これにより栃木市消防団の団員数は計1,000名となりました。

式終了後は、幹部団員を対象とした消防団再編で大きく変わる運営体制についての共通意識を図るための研修と、新入団員を対象とした座学による基礎研修をそれぞれ行いました。

## CONTENTS

消防団ニュース	・・・	P2
令和3年度主な行事	・・・	P3
消防団員の声	・・・	P4・5
お知らせ	・・・	P6



大川市長を囲んで退団者と消防団幹部の記念写真

# 令和3年度 消防団ニュース

## ☆消防団の記事が広報とちぎの表紙を飾りました！☆

広報とちぎ 令和4年1月号において、栃木市消防団の記事が表紙を飾りました！令和3年11月12日(金)に、藤岡第1分団が地元である部屋小学校3年生の児童たちに行った特別授業と新入団員の募集について特集されていますので、是非ご覧ください！

1

広報とちぎ 1月号

2022(令和4)年1月1日 発行



11月12日、藤岡地域の部屋小学校にて、栃木市消防団による特別授業が行われました。当日、藤岡第1分団の消防団員が、同校の3年生に、消防団の役割の説明や、実際にホースの筒先を持った放水体験、水消火器を使った消火器の体験などを行いました。

## 栃木市消防団 新入団員募集！

栃木市消防団は「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神に基づき、会社員や自営業者をはじめ大学生など、男女問わず様々な人が参加し地域の安全と安心を守るために日々活動しています。市民の皆様にも身近で地域に密着した消防機関であり、地域防災において非常に重要な役割を担っています。

しかし、近年は少子化や人口減少、就業形態の変化などにより消防団への入団者の減少が続いており、新入団員の確保が課題となっている地域があります。

栃木市消防団では、ともに活動する仲間を随時募集しています。地域の為・大切な人の為、あなたの力が必要です。あなたも街を守るヒーローになりませんか。

※興味がある方は、消防総務課またはお近くにお住いの消防団員までお気軽にご相談ください。

問合せ先 消防総務課 ☎(23) 3527

**資格** 市内に在住・在勤の18歳以上の男女で、消防団員として意志が固く健康な方。大学生・短大生・専門学生の方も歓迎！

**活動内容** 男性 災害時の消火・水防・避難誘導活動や各種訓練等

女性 防災教育や予防広報などの啓発活動 ※女性団員は消火活動等は行いません

**身分** 非常勤特別職の地方公務員

**入団後の主な処遇**

①年額報酬や出勤に係る費用弁償等が支給されます。また、一定期間以上勤務し退団した際には、退職報償金が支給されます。

②活動中に負傷した場合は、補償制度があります。

③活動に必要な被服等が貸与されます。

④学生の消防団員の場合、在学中に1年以上消防団活動を行った方、または消防団長が特に優れた功績があると認めた方には、「栃木市学生消防団活動認証制度」により、その功績を栃木市長が認証し、認証状を交付することで就職活動の支援をします。

# 令和3年度 主な行事

## ☆新入団員基礎教育訓練☆



ホース延長訓練に励む新入団員

令和3年4月18日(日)に、栃木・都賀・西方地域を対象とした北部会場(栃木市消防署)と、大平・藤岡・岩舟地域を対象とした南部会場(CITY GYM & SPA 遊楽々館)の二箇所に分かれ、令和2年度及び令和3年度に入団した新入団員に基礎教育訓練を行いました。

訓練に参加した方々は、ソーシャルディスタンスを保ちながら全体で礼式訓練を実施した後、消防車両や各種装備の使用方法や大切さ、取り扱い等を学び、消防団員としてのスキルアップに励みました。

## ☆車両と器具置場の一斉点検☆

令和3年6月27日(日)に、栃木市内すべての消防団器具置場において、車両と器具置場の一斉点検を行いました。例年この時期に実施していた夏季点検を、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止したことに伴い、代替の点検事業として実施しました。

大豆生田団長が各地域を視察したほか、各地域の本部分団が各器具置場を巡回して普段なかなか細かく確認できない箇所まで念入りに点検を行い、災害に備えました。



大豆生田団長の視察

## ☆表彰伝達式☆



受賞の謝辞を述べる様子

令和3年10月31日(日)に、栃木市役所正庁で、表彰伝達式を開催しました。

例年、通常点検において表彰を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から通常点検を中止したことに伴い、表彰伝達式として代表で受領する29名のみに参加者を限定して行い、総勢243名、25分団が表彰されました。

# 消防団員の声

## 栃木地域



若さ溢れる立ち姿

トピックス

祖父の背中を追い  
消防の道へ

私は現在23歳で、普段は会社員として勤務をしながら消防団活動をしています。私の祖父も生前消防団員でした。私が子供の頃、火災が発生した時現場へ急行する祖父の姿を良く覚えています。その背中を見て育ってきた私が、知り合いの方から誘いを受け、祖父の跡を継ぐように入団をさせていただきました。私が所属する栃木第4分団は本町・神田町・城内町・旭町の一部を管轄しており、分団長はじめ18名の団員が所属しています。入団してみると祖父のことを良く知っている方や、優しく指導してくれる先輩方が多くすぐに馴染むことが出来ました。入団以降、幸いにも大きな火災はなく、火災現場での活動はまだありませんが、日々の放水訓練や地域の防災活動を通して、消防団員としての経験を積み、災害時に即対応出来るよう知識や技術の習得に励みたいのです。また、火災予防広報の巡回などにも積極的に参加し、災害のない平和な街を継続していければと思います。今後も地域の安心安全のため、先輩方と一緒により精進していこうと思います。

栃木第4分団 団員 富田颯

## 大平地域



車両誘導訓練の様子

トピックス

コロナ禍  
模索の一年

大平本部分団長の大川です。令和3年度における大平地域の活動状況をお伝えします。この一年も新型コロナウイルス感染症の影響により災害時以外の活動の多くを制限せざるを得ない状況でしたが、こういった時勢でも消防力の維持向上ができる活動を模索し続ける一年でした。そのような中、感染症対策を万全に行い3つの訓練を行いました。6月に消防ポンプ運用訓練、次に10月に消防団無線機運用訓練、そして12月の消防車両誘導訓練です。これにより消火技術、情報伝達、安全管理という点で団員の能力の向上を図ることができました。特に、車両誘導訓練は初の試みでしたが、参加者からは「車両の操作、誘導員の大切さを実感することができた」と好評でした。なお、これらの訓練は大平分署の皆様の協力により実施することができました。お忙しい中ご協力賜りましたこと、この場を借り改めて御礼申し上げます。最後になりますが、これからも郷土愛を持って消防団活動に尽力することを誓いまして、報告とさせていただきます。

大平本部分団長 大川克己

## 藤岡地域



点検作業の様子

トピックス

若者が地域のために  
活動できる組織

昨年4月に栃木市消防団員になって早一年がたとうとしています。この一年間、新型コロナウイルス感染症の影響で夏季点検や操法訓練などのイベントが中止となってしまいましたが、消火活動や日々の訓練、点検作業など様々なことを経験することができました。私が初めて消火活動に参加したのは、昨年4月の渡良瀬遊水地での火災でした。入団してからわずか10日での出来事で右も左もわからないなか、先輩方のご指導のおかげもあり、無事活動を終えることができました。消防団員となってすぐに消火活動を経験したことで、「自らの地域は自らが守る」という消防団の精神を、身をもって強く知ることができました。

まだまだ勉強中の身ではありますが、一年間の活動を通して、自分自身成長することができたと感じています。これからも先輩方のご指導の下、地元に貢献していきたいと考えています。

藤岡第4分団第1部 団員 橋本和哉 4

## 都賀地域

私は現在、大学校に通う学生です。私の家庭では祖父、父と消防団を経験しており、私も地域のために活躍したいと思い入団を決意しました。4月4日に行われた入退団式では新入団員宣誓を務めさせていただき、消防団員としての自覚と責任が生まれ、気持ちが引き締まりました。4月18日には新入団員を対象とした基礎教育訓練が行われ、敬礼や整列など団体行動やホースの扱い方の基礎を学ぶことができました。そして4月中に早速火災の初出動がありました。現場では交通整理を担当しましたが、これから経験を積んで役に立てるようになりたいと思いました。

私は学生という立場で入団するにあたり不安がありましたが、先輩方のご理解とフォローのおかげで1年間無事に活動することができました。地域防災を担う消防団はとてもやりがいがあります。地域のために、一緒に活動しませんか？

### 都賀第3分団 団員 青木奏弥



二足の草鞋を穿く青木団員

トピックス

「学生」しながら  
「消防団員」に

自分は、昨年度栃木市消防団における最年少班長を務めさせていただき、令和4年度より団員歴8年目を以って部長を任されることになりました。誠に恐縮ですが、とても光栄に思っております。きっかけは先輩団員の勧誘でしたが、常々「入らなくてはいけない。」と思っていたので、ある意味で義務感から入団を決めました。ですが、実際入団して訓練に参加すると、それまでは挨拶する程度であった地域の先輩方との貴重な交流の場となり、災害現場の活動においても「顔を知っている方の家が被害に遭われているかもしれない！」といった状況で能動的に事態の收拾に携わることができたときは、有意義な時間を過ごしていると実感しています。また、それこそが団員を続ける理由にもなっています。現在、多くの地域で団員の世代交代が思うように進んでおりませんので、自分達の地元を自分達で守っていくためにも、少しでもご興味のある方は、教えてくれる先輩がいて失敗しながらでも教わるのが恥ずかしくない若い歳のうちに入団されることを、お勧めいたします。

### 西方第3分団第2部 部長 中田貴弘



消防庁貸付車両とともに

トピックス

郷土愛と  
責任感を胸に

2017年4月、私は消防団に入団しました。警察官退職後に、当時現役の消防団員から誘われたことがきっかけでした。入団して良かったと一番に感じたことは、同世代の仲間が増えたことです。私は茨城県出身ですが、大学卒業後に栃木県の警察官に採用されたことで、本県に住むようになりました。その為、自分が暮らす地域で同世代の知り合いはほとんどいませんでした。入団当初から、操法訓練や出動等に対して先輩団員の真剣に取り組む姿勢を目の当たりにし、こんなにも地域の防災の為に真剣に向き合う同世代の人達がいたのかと思い、胸が熱くなったことを覚えています。また、その中で一緒に活動できるということを誇りに思えるようになりました。現在私は、防犯・防災用品の販売会社を営んでいます。本業でも消防団員としても、地域の防災のお役に立てるようこれからも日々精進してまいります。

最後に余談ですが、皆さんの分団部でグローブ等装備品類がご入用の際はお気軽にハマ商店までご相談ください！

### 岩舟本部分団 部長 長濱賢治



ご自身の店舗にて

トピックス

隣県から  
第二の故郷へ

# お知らせ

## ☆事業者の皆様へ☆

栃木市消防団には、消防団にご協力いただける事業所を支援する2つの制度があることをご存じですか。1つ目は「栃木市消防団協力事業所表示制度」です。これは、従業員の勤務時間中の消防団活動への便宜や、消防団入団の促進など、消防団へ積極的な協力をしている事業所等を「消防団協力事業所」として認定し、事業所名等をホームページなどでお知らせするものです。本制度において事業所が認定されることで、市が発注する建設工事における入札参加資格審査にて地域貢献点が加算されます。

2つ目の「栃木市消防団サポート事業制度」は、市内の事業所等にサポート店としてご登録いただき、消防団員及びそのご家族に対し優遇措置を提供していただく事業で、令和4年2月末日時点で市内90を超える飲食店他様々な事業所が登録されております。また現役消防団員の皆様におかれましては、各種割引等様々な特典がございますので、本制度をより一層ご活用いただければと思います。

これらの制度を通じて社会貢献・地域貢献に興味をお持ちの事業者の皆様におかれましては、詳細についてご説明いたしますので、下記発行元までお気軽にご相談ください。

## ☆女性消防団員募集中！☆

栃木市消防団では女性団員を募集しています。女性団員のみで構成される「女性分団」は、実際の消火活動は行いませんが、火災予防広報や防災教育、応急手当の普及活動等の予防啓発活動を市内各地で行っており、地域防災力の向上のためには欠かせない存在です。

応急手当や防災について学んだ知識は、身近な大切な人を助けるために役立ちます。地域やそこに住む人たちを守るため、あなたも女性分団に入団してみませんか。



女性分団による秋季火災予防広報

## ☆栃木市学生消防団活動認証制度☆

2018年4月1日から「栃木市学生消防団活動認証制度」を実施しております。この制度は大学等に在学しながら、真摯かつ継続的に本市消防団活動に取り組み、地域社会に貢献した大学生等に「栃木市学生消防団活動認証状」を交付し大学生等の就職活動を支援する制度です。

**栃木市消防団は若い力を必要としています。消防団活動を通じて地域社会に貢献してみませんか？**



発行：栃木市消防団 消防総務課 栃木市平柳町1丁目34番5  
電話：0282-23-3527 FAX：0282-22-6766

栃木市消防本部HP：<https://www.city.tochigi.lg.jp/site/shoubou/>